



第3回外来生物除去作戦 参加者大募集!

同日開催! 植物観察会

「春の植物探検～こんなにある外来種～」

講師:茨城県環境アドバイザー 安嶋隆先生

東海村内外のたくさんの人々に利用されている総合福祉センター「絆」この北側にはたくさんの「みどり」が広がり、生き物たちの貴重なすみかとなっています。

ここは東海村の中心地の大切な緑地帯として、未来の子供たちのために今後も守られていくべき場所です!

ところが今、ここに多くの外来生物が入り込み、本来住んでいた生き物たちの生活がおびやかされつつあります。

私たちの手でこれを阻止し、これまでの大切な環境を守りましょう!



実施日 平成29年6月10日(土)

雨天時 平成29年6月11日(日)

時間 午前8時45分～11時15分(受付8時45分)

場所 東海村総合福祉センター「絆」北側緑地 (集合場所は裏面参照)

※絆の駐車場を御利用ください

持ち物 飲み物・タオル

服装 長袖・長ズボン・長靴着用

※小学生は保護者同伴でご参加ください

主催 とうかい環境村民会議自然共生社会部会

申込 東海村環境政策課 環境計画・緑化推進担当まで

①電話: 029-282-1711(内線1454)

②FAX: 029-282-0479

③Mail: kankyou@vill.tokai.ibaraki.jp

④とうかい環境村民会議HP問合せフォーム

※参加者氏名,電話番号,住所,メールアドレスをご連絡ください

※雨天時の延期・中止のご連絡は当日午前8時にとうかい環境村民会議HP
(<http://www.tokai-kankyou-sonminkaigi.com>)に掲載します



とうかい環境村民会議
HPはこちら!

◆活動場所



◆活動内容

Google map

「オオキンケイギク」「セイタカアワダチソウ」を引抜きます。お子様でも簡単に参加いただける作業です。

オオキンケイギクとは？

北アメリカ原産。キク科の多年生草本で、明治時代中期に園芸植物として日本に持ち込まれた。河川敷、道路沿い、海岸などに大群落を作る。



セイタカアワダチソウとは？

北アメリカ原産。キク科アキノキリンソウ属の多年草で、明治時代末期に鑑賞用植物として日本に持ち込まれ、路傍、空地、河川敷、土手、原野、休耕地に大群落を作る。



◆自然共生社会部会では

東海村も住宅地開発などが進む中、絆北側緑地を東海村中心部の貴重な緑地帯として守っていきたいと考え、平成25年度・26年度に動植物調査を行い、様々な希少種が生息していることを確認しました。また平成27年度にはこの一帯のみらいを考えるワークショップを開催し、将来のあるべき姿を考えました。その実現に向けた第一歩として、平成28年度から外来生物除去活動を実施しています。